



日本で**唯一**の国立体育大学
それが
鹿屋体育大学



国立大学法人 **鹿屋体育大学**

自転車競技部

沿革

成り立ち

- 1995年創部 (31年目)
- 日本学生自転車競技連盟
- 近年成績

2023

- ・第92回全日本自転車競技選手権大会トラックレース
女子チームスプリント優勝
- ・第78回全日本大学対抗選手権
男子マディソン優勝 (2連覇)、
女子チームスプリント優勝 (3連覇)、女子500mTT優勝、
男子チームパーシュート2位、女子マディソン2位、
女子スプリント2位、男子オムニウム3位
- ・全日本学生選手権オムニウム大会：男子オムニウム優勝 他

2024

- 【国際大会】
 - ・ジャパントラックカップ：男子エリミネーション7位
 - ・ジュニアトラック世界選手権 男子チームパーシュート出場
- 【全国大会】
 - ・第93回全日本自転車競技選手権トラックレース
女子チームスプリント優勝 (2連覇)
 - ・第79回全日本大学対抗選手権
男子オムニウム優勝、女子スプリント優勝、
男子チームパーシュート2位、男子マディソン2位、
女子チームスプリント2位、女子500mTT2位、
男子タンデムスプリント3位
 - ・第64回全日本学生選手権トラック自転車競技大会
女子スプリント優勝、500mTT優勝、女子マディソン優勝 他

2025

- 【国際大会】
 - ・ジャパントラックカップ：男子スクラッチ優勝、オムニウム準優勝、ポイントレース準優勝
 - ・インターナショナルトラックカップ (香港)：オムニウム準優勝、マディソン3位
 - ・インターナショナルトラックカップ (日本)：オムニウム5位
- 【全国大会】
 - ・第9回全日本学生選手権オムニウム大会：男子オムニウム優勝
 - ・第27回全日本学生選手権クリテリウム大会：女子準優勝 他

- 創部後全国優勝352勝、全国優勝者73名
- 全日本インカレ総合優勝男子4回、女子15回 (2025年6月末現在)

活動理念

日本の自転車競技をメジャーにし、未来の自転車界を支える人材を育成する。

活動目的

鹿屋体育大学自転車競技部は部員相互の親睦を図りながら、自転車競技における選手・スタッフとしての能力の向上を真剣に目指すことで、社会に役立つ人材を育成し、自転車競技を通じて我が国のスポーツ界の発展のため、「競技力向上」、「楽しく」、「社会貢献」の3つを主に、自転車競技をメジャーにするために活動する。

構成メンバー

指導スタッフ

監督：山口 大貴
スポーツ・武道実践科学系
顧問教員：藤田 英二
スポーツ生命科学系

※2025年6月現在

部員数

4年生 5名
3年生 8名
2年生 6名
1年生 4名
合計 23名

日本記録更新者

近藤美子、前田佳代乃、上野みなみ、塚越さくら、橋本英也、原田裕成、橋本優弥 (日本記録更新 42回)

オリンピック出場選手

- 萩原麻由子 2012 ロンドン 女子ロードレース
- 前田佳代乃 2012 ロンドン 女子スプリント
- 内間 康平 2016 リオデジャネイロ 男子ロードレース
- 塚越さくら 2016 リオデジャネイロ 女子オムニウム
- 橋本 英也 2021 東京 男子オムニウム
- 2024 パリ チームパーシュート

世界三大ツール出場選手

- 石橋 学 ジロデイタリア 2015 / 山本 元喜 ジロデイタリア 2016

イベント・社会貢献活動

スポーツ合宿・測定事業等



高校生～プロ選手までの幅広い世代に対して、自転車競技のパフォーマンスに関わる測定を行い、得られた結果をフィードバックしています。本学自転車競技部と合同練習を行うときもあります。

子供自転車教室 (週1回)



小学生～中学生が対象の地域自転車クラブ(シエルブルーエスポワールアカデミー)の指導を行っています。自転車の楽しさを次世代に繋ぐ活動にも力を入れています。

サイクリングイベントボランティア (年5回程度)

鹿児島県内外で行われる、サイクリングイベントのボランティア活動を行っています。イベント参加者は、数十人～1000人、未経験者から本格的なスポーツ用自転車愛好家などと幅広いですが、様々なイベントに参画し自転車競技のメジャー化に寄与しています。



年間スケジュール

| | |
|-----|---|
| 5月 | 全日本学生選手権クリテリウム大会 ジャパントラックカップ 西日本学生選手権トラック自転車競技大会 ツールド南さつま |
| 6月 | 全日本学生選手権オムニウム大会 インターナショナルトラックカップ 全日本学生選手権個人ロードレース大会 全日本選手権ロード・TT 鹿児島県選手権・肝付地区大会 |
| 7月 | 全日本学生選手権トラック自転車競技大会 |
| 8月 | 全日本選手権トラックレース 全日本インカレ (トラック) |
| 9月 | 全日本インカレ (ロード) 国民スポーツ大会 |
| 10月 | 都道府県対抗・鹿児島県民スポーツ大会 |
| 11月 | 全日本学生チームTT・個人TT ツールド大隅・薩摩川内市サイクルフェスタ |
| 2月 | 明治神宮外苑大学クリテリウム |
| 3月 | 九州チャレンジロードレース |

卒業生進路

競輪選手（プロ）、ロード選手（プロ）、メカニック（プロ・ヨーロッパ）、マッサー（プロ・ヨーロッパ）、大学院進学、中・高体育教員、大学・高専教員、自転車競技日本代表コーチ、自転車競技日本代表アナリスト、消防士、市役所職員、公益財団法人 JKA、日本写真判定株式会社（JPF）、キャンonder、アシックス株式会社、株式会社ブリヂストン 等

現役プレイヤー

| | | |
|--------|---------|---------------------------|
| 前田 義和 | 2006年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 新納 大輝 | 2012年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 野口 正則 | 2013年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 黒枝 士揮 | 2014年度卒 | Sparkle Oita Racing Team |
| 山本 元喜 | 2014年度卒 | KINAN Racing Team |
| 石橋 学 | 2015年度卒 | JCL TEAM UKYO |
| 原田 裕成 | 2016年度卒 | Sparkle Oita Racing Team |
| 奥村 諭志 | 2016年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 橋本 英也 | 2016年度卒 | 日本競輪選手会・KINAN Racing Team |
| 安本 昇平 | 2017年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 堀 航輝 | 2018年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 黒枝 咲哉 | 2018年度卒 | Sparkle Oita Racing Team |
| 山本 大喜 | 2018年度卒 | JCL TEAM UKYO |
| 富尾 大地 | 2019年度卒 | SHIMANO Racing |
| 阿部 将大 | 2019年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 西島 叶子 | 2019年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 松本 叶斗 | 2019年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 徳田 匠 | 2020年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 長松 大祐 | 2021年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 岸田 剛 | 2021年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 真鍋 智寛 | 2021年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 中村 圭佑 | 2021年度卒 | VICTOIRE HIROSHIMA |
| 黒瀬 浩太郎 | 2022年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 山根 慶太 | 2022年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 成海 大聖 | 2022年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 長松 空吾 | 2022年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 新垣 慶晃 | 2023年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 成海 綾香 | 2023年度卒 | 日本競輪選手会 |
| 古谷田 貴斗 | 2023年度卒 | CIEL BLUE KANOYA |
| 道見 優太 | 2023年度卒 | CIEL BLUE KANOYA |
| 伊澤 将也 | 2024年度卒 | CIEL BLUE KANOYA |
| 大河内 将泰 | 2024年度卒 | CIEL BLUE KANOYA |

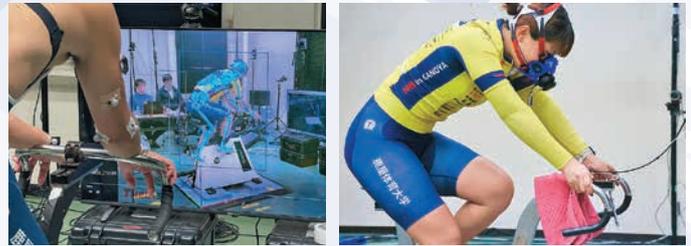
授業・測定紹介

競技スポーツ論・実習（自転車競技）



国内で唯一、自転車競技を題材とした授業が開講されています。学習内容は、ペダリング技能評価、レース分析方法、トレーニング方法、空気抵抗等に関する競技力向上に寄与する内容や応急処置に関する方法を講義と実技で段階的に修得します。国内最高峰の環境で自転車競技について深く学んでいます。

コントロールテスト



大学内外の恵まれた施設や機器を利用して、年に3回程度コントロールテスト（フィールド・ラボテスト）を行っています。ラボテストでは、大学内の研究施設で無酸素パワーテスト、ウイングートテスト、乳酸カーブテスト、酸素摂取量、3次元動作解析等の測定を行っています。フィールドテストでは、映像解析ソフト、GPS、パワーメーター、空気密度計等を利用して、走行中の運動フォームやペダリングパワー、空気抵抗に関わる指標を可視化・分析します。得られたデータは自転車競技部員にフィードバックするほか、卒業論文や修士論文、博士論文などに用いられることもあります。なお、これらのデータは、本学のOBOGの先輩たちが在学中の記録とも比較できる環境が整っています。

施設

根占自転車競技場



鹿児島国体のために新設された333m（最大傾斜36度、走路幅9m）の自転車競技場です。休日に限らず平日も利用できます。部が保有するモーターバイクを利用して、バイクパーサー練習も可能で、本格的なスピード練習を行うことができます。

ユクサおおすみ海の学校



大学近くの小学校をリニューアルした宿泊施設内の体育館スペースに、自転車エルゴメーター（パワーマックス・ワットバイク）、フリーウエイト機材、BMXバイク（パンプトラック施設有り）等のトレーニング機材を保有しています。屋外トレーニングでは与えられない刺激やBMXを用いてバイクコントロールの技能の獲得を目指しています。

トレーニング教育センター

発育発達段階に応じた科学的トレーニング方法の開発・研究を推進する施設で、教員室、運動機能測定室、スポーツ技術クリニック室、スポーツコンディショニング室、スポーツカウンセリング室等を設置しています。

その中でもトレーニング環境シミュレータ室は、酸素濃度を低酸素（1,000m～8,000m）及び高酸素（通常の1.5倍）の状態にできるとともに、気温（-10℃～+40℃）、湿度（50%～80%）を調節することができ、また室内では直射日光の代わりに日射装置を設置しています。

自転車競技部ではこの恵まれた設備を活用し、パフォーマンスの向上に努めています。

ロードコース

大学を一步出ればロードコースが無数に広がります。鹿児島のシンボル「桜島」や本土最南端の「佐多岬」、ロケットセンター近くの「内之浦」など充実したコースを思う存分走ることができます。

受験者の皆様へ

私たち自転車競技部は「競技力向上」「楽しく」「社会貢献」を主に部員相互の親睦を図りながら、選手・スタッフとしての能力を伸ばして社会に役立つ人材を育成し、自転車競技をメジャーにするために活動しています。本学では国内で唯一、自転車競技の授業（競技スポーツ論・実習）があり4年間学びを深めることができます。「自転車競技をもっと知りたい」「自転車競技の魅力をもっと知ってほしい」「自転車競技を通して自分自身を成長させたい」という気持ちがある方をお待ちしています。選手希望者だけではなく、スタッフ希望者も歓迎します。自転車競技を通して一緒に充実した大学生活を送りませんか？
※自転車競技未経験で大学から競技活動を行いたい方は、入部に向けて一定の基準がありますので事前にお問合せください。

入学試験

一般選抜

入学試験の基本方針

- ・入学後の教育に十分に対応し自らの趣向性にあうように、文系・理系に特に偏ることなく、さらにこれからのグローバル化した社会に対応するために外国語の基礎学力を備えているかについて、大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目の成績により判断します。
- ・スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおけるリーダーシップやマナー、コミュニケーション能力、および知識や経験に基づく思考・判断・表現力などについて「プレゼンテーション+口頭試問」試験により判断します。
- ・スポーツ・武道に関する基礎的な実技力またはあらゆるスポーツに関する基礎的な身体資質の特性を課程別に指定した実技検査により判断します。

選抜方法

一般選抜は、大学入学共通テスト並びに本学が行う試験（「プレゼンテーション+口頭試問」試験、実技検査）の成績、調査書及び指定調書の内容を総合して選抜します。

総合配点

「プレゼンテーション+口頭試問」試験

100点



右の 카테고리【国語 or 数学、地理歴史 or 公民 or 理科 or 情報、外国語】の中から1科目ずつ(合計3科目)選択し、全て200点換算されます。

| 【例】 | |
|------------------------|------------|
| 国語 or 数学 | |
| 数学 I | 84点 → 168点 |
| ----- | |
| 地理歴史 or 公民 or 理科 or 情報 | |
| 物理 | 80点 → 160点 |
| ----- | |
| 外国語 | |
| 英語 | 125点 |

合計 453点 (76%)

大学入学共通テスト

| 国語 or 数学 | 地理歴史 or 公民 or 理科 or 情報 | 外国語 |
|---|---|-----------------------------------|
| 国語 数学 I 数学 I, 数学 A 数学 II, 数学 B, 数学 C | 地理総合, 地理探究 歴史総合, 日本史探究 歴史総合, 世界史探究 公共, 倫理 公共, 政治・経済 地理総合/歴史総合/公共 ※ 物理 化学 生物 地学 物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎 ※ 情報 I ※の科目は2出題範囲を選択解答していること | 英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語 |

実技検査

受験者の基礎的な運動技能や運動能力を測るため、実技検査を行います。自転車競技の競技歴を有する方は、「運動能力検査」で受験しています。

スポーツ総合課程の過去3年の合格者平均点

2025年：693.1点 | 2024年：676.2点 | 2023年：665.2点

※1000点満点

学校推薦型選抜

入学試験の基本方針

- ・スポーツ・武道の分野で高い競技能力を有し、将来トップレベルの競技者になりうる資質について、課程別に指定した実技検査により判断します。
- ・スポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導・普及させるための基礎的な知識、また指導・普及における課題に対する思考・判断・表現力について小論文により判断します。
- ・スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおけるリーダーシップやマナー、コミュニケーション能力などについて面接により判断します。

総合型選抜 (SS) 入試

入学試験の基本方針

- ・スポーツ・武道の分野で極めて優れた競技能力を有し、近い将来国際大会等で活躍しうる資質について競技実績により判断します。
- ・本学への明確な志望動機や入学後の競技や学生生活に関するビジョンのほか、リーダーシップやマナー、コミュニケーション能力などについて自己推薦書や「プレゼンテーション+口頭試問」試験により判断します。
- ※SSとは、スーパー・スチューデント (Super Student) の略で、競技能力の特に高い者を指します。

アクセス



お問い合わせ

国立大学法人 鹿屋体育大学
自転車競技部
〒891-2393
鹿児島県鹿屋市白水町1番地
Tel: 0994-46-4111
E-mail: nifs.bluesky@gmail.com

自転車競技部 Instagram

